

卓球競技実施要項

1. 主催 都城工業高等専門学校
九州沖縄地区国立高等専門学校体育連盟
2. 期 日 令和4年7月9日(土)・10日(日)
3. 会 場 高城運動公園総合体育館
4. チーム人員 男女とも監督、コーチ、マネージャー各1名及び選手各8名以内とし、選手は(公財)日本卓球協会に登録している学生であること。
5. 競技規則 (公財)日本卓球協会制定 日本卓球ルールによる。現行の日本卓球ルールを適用し、試合はすべて11点5ゲームマッチで行う。
6. 競技日程 7月8日(金) 13:00～ 公式練習 16:30～ 監督会議
7月9日(土) 8:40～ 開会式
団体戦予選リーグ・決勝トーナメント
個人戦(シングルス・ダブルス)
7月10日(日) 個人戦(シングルス・ダブルス)

7. 競技方法

I 団体戦の部

(1) 男子の部

ア. 出場10チームを3ブロック(Aブロック:3チーム、Bブロック:3チーム、Cブロック:4チーム)に分け、予選リーグ戦を行う。3チームによる予選リーグの試合順序は、第1試合をシード校以外とし、第2試合はシード校と第1試合の敗者とする。4チームによる予選リーグの試合順序は、第1試合を7(シード校)ー10及び8ー9(シード校)、第2試合は、第1試合の勝者と敗者とする。A、Bブロック1位チーム及びCブロック1位、2位チームによる決勝トーナメント戦を行う。決勝トーナメントの初戦は、A、Bブロックの1位チームとCブロックの1位チームもしくは2位チームのどちらかが対戦し、対戦相手はくじ引きにより決定する。

決勝トーナメントでは、3位決定戦は実施せず、2校を3位として表彰する。ただし、全国大会の出場校を決めるにあたって、3番目の学校を決める必要がある場合は、全国大会出場決定戦を行うこととし、この場合も2校を3位として表彰する。

イ. 前回大会(代替大会を含む)の成績により、1位チームをAブロックの1番に、2位チームをBブロックの4番に、3位チームをCブロックの7番と9番にシードとする。ただし、前回大会(代替大会を含む)において3位以上のチーム数が4未満の場合は、上記の順で上位チームよりシードを割り当て、残ったシード枠は抽選に含める。

ウ. 試合は、4シングルス・1ダブルス(3番にダブルス)の編成とし、3点先取にて勝敗を決める。1、2番に出場した選手のみで、ダブルスを組むことはできない。

なお、ダブルス種目の実施の可否は、新型コロナウイルス感染状況に応じて、各関係機関と調整のうえ判断する。

ダブルスが実施できない場合:5シングルの3点先取にて勝敗を決める。1～4のシングルスはすべて異なる選手とし、5番目の選手は1～4番目の選手が重複して出場することができる。

エ. オーダーの提出は、試合開始10分前とする。10分前に前の試合中の場合、試合終了直後とする。

(2) 女子の部

ア. 女子出場校によるトーナメント方式で行う。トーナメント戦の組み合わせは、くじ引き

により決定する。3位決定戦は実施せず、優勝校、準優勝校を表彰する。

イ. 試合は、4シングルス・1ダブルス（3番にダブルス）の編成とし、3点先取にて勝敗を決める。1、2番に出場した選手のみで、ダブルスを組むことはできない。

なお、ダブルス種目の実施の可否は、新型コロナウイルス感染状況に応じて、各関係機関と調整のうえ判断する。

ダブルスが実施できない場合：5シングルの3点先取にて勝敗を決める。1～4のシングルスはすべて異なる選手とし、5番目の選手は1～4番目の選手が重複して出場することができる。

ウ. オーダーの提出は、試合開始10分前とする。10分前に前の試合中の場合、試合終了直後とする。

エ. エントリー数により競技方法を変更する必要がある場合は、監督会議で決定する。

II 個人戦の部

(1) 男子の部

ア. 1校あたりシングルス8名以内、ダブルス2組以内によるトーナメント戦とする。個人戦の部において、3位決定戦は実施せず、1、2、3位を表彰する。

なお、ダブルス種目の実施の可否は、新型コロナウイルス感染状況に応じて、各関係機関と調整のうえ判断する。

(2) 女子の部

ア. 1校あたりシングルス8名以内、ダブルス2組以内によるトーナメント戦とする。個人戦の部において、3位決定戦は実施せず、1、2、3位を表彰する。

なお、ダブルス種目の実施の可否は、新型コロナウイルス感染状況に応じて、各関係機関と調整のうえ判断する。

イ. 組合せは、原則トーナメント戦とするが、エントリー数により競技方法を変更する必要がある場合は、監督会議で決定する。

8. 注意事項・その他

(1) 使用球は、(公財)日本卓球協会公認球（プラスチック球：40mm ホワイト）とする。

(2) 前の試合が終わり次第、次の試合を繰り上げて実施する。

(3) 個人戦（男子）は、該当するチームの団体戦が終了した学校の選手の対戦から行うものとする。

(4) 競技フロアにおいては、卓球シューズ及びスリッパ以外の使用を禁止する。

(5) 大会参加に際して提供される個人情報、本大会活動に利用するものとし、これ以外の目的には利用しない。

(6) 運営方法及び競技種目、競技方法については、新型コロナウイルス感染症の状況に対する政府及び自治体の対応等を考慮し、各関係機関と調整のうえ判断する。

(7) その他、詳細については、担当校に一任する。

(8) 別紙「第59回（令和4年度）九州沖縄地区高専体育大会卓球競技における新型コロナウイルス感染症対策ガイドライン」を遵守すること。

また、大会会場の新型コロナウイルス感染拡大防止対策方針に従い、感染拡大防止に最善を尽くすこと。

第59回（令和4年度）九州沖縄地区高専体育大会卓球競技における 新型コロナウイルス感染症対策ガイドライン

日本卓球協会における新型コロナウイルス感染症対策ガイドライン
（2021年11月15日版より抜粋、一部改編）

1. 卓球競技大会開催時の感染防止策について（主催者）

（1）卓球競技大会の企画、参加者募集時の留意事項

- ① 競技大会は、都道府県知事の感染防止方針に準拠して開催する。
- ② 県を跨いだ全国大会などは、大会規模に応じて参加者の事前検査等（ワクチンの接種状況、PCR検査または抗原定量検査）を義務付けることも考慮する。
- ③ 参加者数は、都道府県知事の方針のもと上限人数を定める。
- ④ ダブルスや団体戦を実施する場合は、以下⑥の項目の遵守を徹底し、「飛沫感染」及び「接触感染」対策を十分に行いつつ実施する。
- ⑤ 観客は、当面の間、全国規模の競技大会は無観客とすることを推奨する。
- ⑥ 有観客で開催する場合は、以下の事項に留意する。
 - ・ 観客同士が密な状態とならないよう、必要に応じ、事前に観客席の数を減らすなどの対応をとること
 - ・ 大声での声援を送らないことや会話を控えること（マスク着用の場合でも、会話を短く切り上げる等の対応が望ましい）
 - ・ 会話をする場合にはマスク（品質の確かな、できれば不織布）を着用すること等の留意事項を周知すること
 - ・ 選手等と観客がイベント前後・休憩時間等に接触しないよう確実な措置を講じること
 - ・ 入退場時の密集回避（時間差入場等）を行うこと
- ⑦ 大会前2週間以内で以下の事項に該当する者には参加の見合わせを求めることを事前に周知する（4.（1）雛形参照）。
 - ・ 平熱を超える発熱（おおむね37度5分以上）がある
 - ・ 風邪の症状（咳、のどの痛みなど）がある
 - ・ 倦怠感（だるさ・体が重い・疲れやすいなど）、呼吸困難（息苦しさなど）がある
 - ・ 嗅覚や味覚の異常がある
 - ・ 新型コロナウイルス感染症陽性とされた方との濃厚接触がある
 - ・ 同居家族や身近な知人に感染が疑われる者（上記の症状を有する者）がいる
 - ・ 政府から入国制限、入国後の観察期間を必要とされている国、地域等への渡航又は当該在住者との濃厚接触がある
- ⑧ 参加希望者に以下の項目の遵守を文書等にて周知する（4.（1）雛形参照）。
 - ・ マスクを持参すること（参加受付時や試合待機時等のスポーツを行っていない際や会話をする際には口と鼻をしっかりと覆うマスクを着用すること）
 - ・ こまめな手洗い、アルコール等による手指消毒を実施すること
 - ・ 他の参加者、主催者スタッフ等との距離（できるだけ2m以上）を確保すること（障がい者の誘導や介助を行う場合を除く）
 - ・ 大会中に大きな声で会話、応援等をしないこと
 - ・ 感染防止のために主催者が決めたその他の措置の遵守、主催者の指示に従うこと
 - ・ 大会参加前に、新型コロナウイルス接触確認アプリ「COCOA」のダウンロードを推奨すること https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/cocoa_00138.html
 - ・ 大会終了後2週間以内に新型コロナウイルス感染症を発症した場合は、主催者に速やかに報告すること

<主催者連絡窓口>

都城高専 学生課学生係

電話：0986-47-1135

メール：gakusei@jim.miyakonojo-nct.ac.jp

(2) 当日の参加受付時の留意事項

- ① 受付には、手指消毒剤を設置すること。
- ② 発熱・咳・呼吸困難・倦怠感などの症状がある人は入場しないように呼び掛けること（状況によっては、サーモグラフィーや非接触体温計などで発熱者を特定し入場を制限することも検討する）。
- ③ 人と人が対面する場所は、三つの密を避けるよう配慮すること。
- ④ 参加者が距離をおいて並べるように目印の設置等を行うこと。
- ⑤ 受付を行うスタッフには、マスクを着用させること。
- ⑥ インターネットやスマートフォンを使った電子的な受付の一層の普及を図り、受付場所での書面の記入や現金の授受等をできる限り避けるようにすること。
- ⑦ 参加者から以下の事項を記載した書面の提出を求めること。
 - ・ 氏名、年齢、住所、連絡先（電話番号）。
※個人情報の取扱いに十分注意する。
大会エントリー時に連絡先が登録されていれば、当日の提出は氏名と体温、症状の有無のみで可。
 - ・ 大会当日の体温。
 - ・ 大会前2週間における以下の事項の有無。
 - 平熱を超える発熱（おおむね37度5分以上）がある。
 - 風邪の症状（咳、のどの痛みなど）がある。
 - 倦怠（けんたい）感（だるさ・体が重い・疲れやすいなど）、呼吸困難（息苦しさなど）がある。
 - 嗅覚や味覚の異常がある。
 - 新型コロナウイルス感染症陽性とされた方との濃厚接触がある。
 - 同居家族や身近な知人に感染が疑われる方（上記の症状を有する方）がいる。
 - 政府から入国制限、入国後の観察期間を必要とされている国、地域等への渡航又は当該在住者との濃厚接触がある。

(3) 卓球競技大会参加者への対応

1) 体調の確認

主催者は、(2) ⑦に掲載されている事項を記載した書面の提出を求めること。

2) マスク等の準備

主催者は、参加者がマスクを準備しているか確認すること。

なお、競技中のマスクの着用は不要であるが、参加受付、着替え、表彰式等の競技外の時間、特に会話する時には、口と鼻をしっかりと覆うマスクの着用を求めること。

3) 大会参加前後の留意事項

イベントの前後のミーティング、写真撮影等においても、三つの密を避けること。会話時にマスクを着用するなどの感染対策に十分に配慮すること。

(4) 卓球競技大会主催者が準備すべき事項

1) 会場入り口、受付

- ① 手指消毒剤の設置。
- ② 受付等にて人と人が対面する場合は、三つの密を避けるよう配慮すること。

2) 手洗い場所・洗面所（トイレ）

- ① 手洗い場には石鹸（足踏み式手指消毒器が望ましい）を用意すること。
- ② 「手洗いは30秒以上」等の掲示をすること。
- ③ 手洗い後に手を拭くためのペーパータオル（使い捨て）を用意する。参加者にマイタオルの持参を求めてもよい。

3) 更衣室

- ① 一度に入室する参加者の数を制限すること。
- ② 室内又はスペース内で複数の参加者が触れると考えられる場所（ドアノブ、ロッカーの取手、テーブル、椅子等）については、こまめに消毒すること。
- ③ 換気扇を常に回す、換気用の小窓を開ける等、換気に配慮すること。

(5) 卓球競技会場、試合進行上の特別処置

1) 換気

- ① 換気設備を適切に運転し、十分な換気を行うこと。
- ② 競技場内の部屋（役員室、更衣室など）の利用にあたっては、30分ごとに十分な換気を行うこと。

2) 卓球台の設置、卓球台・ボールの消毒

- ① 卓球台は十分な間隔を開けて設置する（4m以上）。
- ② 卓球台、ボールに適用可能となる完璧な消毒方法は判明していない。卓球台及びボールを消毒する場合には製造元のメーカーのホームページを参照するかメーカーに問い合わせる。

【参考】卓球台及びボールの消毒

- ・ 70%アルコール：使用不適；卓球台、ボールの品質に悪影響を与えます。
- ・ 塩素系漂白剤（次亜塩素酸ナトリウム0.05%に希釈）：同上
- ・ 次亜塩素酸水：効果が不明確であり、現時点では推奨致しません。
- ・ 次亜塩素酸ナトリウム希釈液と間違わないようご注意ください。
- ・ 台所用合成洗剤又は住宅・家具用洗剤（界面活性剤を含む製品）を希釈して消毒に用いる場合は、卓球台、ボールにより影響が異なるため、各メーカーのホームページを参照するかメーカーにお問い合わせ下さい。
- ・ 頻回の手洗いによる除菌、感染予防に努めて下さい。

3) 選手・コーチ用ベンチ、審判席、カウンター等の消毒

次亜塩素酸水、70%アルコール、次亜塩素酸ナトリウム（0.05%希釈）、界面活性剤等で各試合終了後に消毒する。

2. 卓球競技大会開催時の感染防止策について（参加者）

(1) 参加者が遵守すべき事項

- 1) 大会前2週間以内に以下の事項に該当する場合は、自主的に参加を見合わせること。
 - ・ 平熱を超える発熱（おおむね37度5分以上）がある。
 - ・ 風邪の症状（咳、のどの痛みなど）がある。
 - ・ 倦怠感（だるさ・体が重い・疲れやすいなど）、呼吸困難（息苦しさなど）がある。
 - ・ 嗅覚や味覚の異常がある。
 - ・ 新型コロナウイルス感染症陽性とされた方との濃厚接触がある。
 - ・ 同居家族や身近な知人に感染が疑われる方（上記の症状を有する方）がいる。
 - ・ 政府から入国制限、入国後の観察期間を必要とされている国、地域等への渡航又は当該在住者との濃厚接触がある。
- 2) マスクを持参すること。

卓球を行っていない時や会話をする際にはマスクを着用すること。
- 3) こまめな手洗い、アルコール等による手指消毒を実施すること。
- 4) 他の参加者、主催者スタッフ等との距離（できるだけ2m以上）を確保すること（障がい者の誘導や介助を行う場合を除く）。
- 5) 会場で大きな声で会話、応援等をしないこと。
- 6) 感染防止のために主催者が決めたその他の措置の遵守、主催者の指示に従うこと。

- 7) 大会参加前に、新型コロナウイルス接触確認アプリ「COCOA」のダウンロードを推奨すること。 https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/cocoa_00138.html
- 8) 大会終了後2週間以内に新型コロナウイルス感染症を発症した場合は、主催者に対して速やかに報告すること。

<主催者連絡窓口>

都城高専 学生課学生係

電話：0986-47-1135

メール：gakusei@jim.miyakonojo-nct.ac.jp

- 9) 大会前後のミーティングにおいても、三つの密を避けること。

(2) 試合を行う際の留意点

- 1) タオルの共用はしない。
- 2) 飲料は自分専用のもを準備し、回し飲みはしない。
- 3) 卓球台の上で手を拭かない。
- 4) シューズの裏を手で拭いたりしない。
- 5) 試合前後の握手など身体を接触させることは行わない。
- 6) 試合中に不要な大きな声は出さない。応援の際は拍手のみ。
- 7) 審判のポイントのコール（発声）は行わない。
- 8) ラケット交換はせず、見せて確認する。
- 9) 試合中マスクは外しても可、それ以外は必ず口と鼻をしっかりと覆うようにマスクを着用すること。
- 10) 試合の前後に手指を必ず消毒する。